



各位



2020年10月29日

会社名 株式会社TOKAIホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 鶴田 勝彦
 (コード番号 3167 東証第1部)
 問合せ先 常務執行役員 IR室担当 谷口 芳浩
 (TEL. 03-5404-2891)

2021年3月期 第2四半期決算について

～コロナ影響を受けながらも過去最高の経営成績だった前年同期並みを達成、顧客基盤も拡大～

当社は、本日、2021年3月期 第2四半期決算を発表しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 顧客件数の純増数が前年同期の約2.4倍、収益基盤の拡充を継続

当社は、2020年度を最終年度とする第3次中期経営計画「Innovation Plan 2020 “JUMP”」において、従来から事業テーマとする継続取引顧客の増加、TLC（トータルライフコンシェルジュ）構想*1に基づく複数取引化の推進、営業エリアの拡大等に加え、M&A及びアライアンス投資など、積極的な収益基盤拡充戦略に取り組んでいます。

当第2四半期において、当社グループは、政府や行政から事業継続を要請されるお客様の生活に欠かすことができないインフラサービス提供事業者として、新型コロナウイルス感染症対策を徹底することにより、お客様並びに従業員の安全確保を図り、サービス提供継続の責務を果たしてまいりました。

営業活動についても、WEBを活用した新たな情報発信や商談会、テレマーケティングなど、非対面営業を積極的に行ったことなどにより、当第2四半期末における継続取引顧客件数は3,042千件と、期首の3,003千件に対し39,003件増加(前年同期は16,250件の増加)しました。

ガス(LP・都市ガス)顧客が15,365件の純増、CATV顧客が25,077件の純増、光コラボ顧客が7,569件の純増と、収益基盤のさらなる拡充を進捗させました。

2. コロナの影響下、前年同期(過去最高の経営成績)並み、かつ、計画超えの決算着地

当第2四半期の業績について、家庭用LPガス販売量の増加、情報通信法人向けストックビジネスの拡大、CATV及びアクア(宅配水)の顧客件数増加等による増収があったものの、LPガス及び都市ガスの仕入価格下落に伴うガス販売価格の低下(利益影響なし)のほか、コロナ禍における営業活動の遅れが影響し、売上高は898億円(前年同期比3.4%減)となりました。

利益面についても、婚礼・宴会など一部の事業がコロナの影響を受けましたが、LPガス、CATV、アクア等の顧客件数増加に伴う月次課金件数の増加等による増益及び法人向け情報通信事業の増益などで補い、営業利益は55億円(同0.9%減)と前年同期並みとなりました。

なお、社内の営業利益計画に対し7億円程度上回った着地であり、通期計画に対する進捗率(36%)も過去の水準(30~31%)を超える進捗となりました。

(単位：百万円)

	当期実績 (2020.4.1~2020.9.30)	前年同期実績 (2019.4.1~2019.9.30)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	89,836	93,015	△3,179	△3.4%
営業利益	5,452	5,500	△48	△0.9%
経常利益	5,499	5,608	△109	△1.9%
四半期純利益	3,279	3,492	△212	△6.1%
1株当たり利益	25.04円	26.67円	△1.63円	△6.1%

3. 2021年3月期は4期連続増収、3期連続最高益更新を果たし、成長基調継続

2021年3月期は4期連続の増収、3期連続で最高益を更新し、成長基調を継続します。

現中期経営計画の最終年度として、また、次期中期経営計画の成長に繋げる土台作りを兼ね備えた年度となります。

当社グループは、継続取引顧客件数の拡大に注力することが、トップラインの拡大・収益基盤の拡充に繋がり、中長期的にグループの大きな成長に結びついていくと考え、積極的な成長戦略への取り組みを続けています。

この具体的な手段として「M&Aの推進」、「『ABCIR+S（アブサーズ）』*2の実践」、「TLC深化」をテーマとして掲げ取り組んでいます。

なお、年間配当金は、継続的かつ安定的な配当に努めていく方針のもと、28円とする計画です。

現時点において、2021年3月期の連結業績予想及び配当予想に変更はありません。

(単位：百万円)

	通期業績予想 (2020.4.1~2021.3.31)	前期実績 (2019.4.1~2020.3.31)	前期比	
			増減額	増減率
売上高	205,300	195,952	+9,348	+4.8%
営業利益	15,000	14,224	+776	+5.5%
経常利益	14,870	14,479	+391	+2.7%
当期純利益	8,460	8,241	+219	+2.7%
1株当たり当期純利益	64.60円	62.93円	+1.67円	+2.7%
期末顧客件数	3,105千件	3,003千件	+102千件	+3.4%

	2021年3月期（予想）	2020年3月期
第2四半期末	14.00円	14.00円
期 末	14.00円	14.00円
年間配当金合計	28.00円	28.00円
配当性向（連結）	43.3%	44.5%

詳細につきましては、別添の「第2四半期決算について」資料をご参照ください。

また、2021年3月期 第2四半期決算短信は、以下のURLをご参照ください。

<https://www.tokaiholdings.co.jp/ir/library/earnings.html>

*1 TLC 構想；当社グループが提供する様々なサービスにより、お客様の快適な生活を総合的、且つきめ細やかにサポートし、お客様の満足度の向上を目指す当社グループのビジョン。

*2 アブサーズ;当社グループの技術革新へ向けた戦略。AI(A)、Big Data(B)、Cloud(C)、IoT(I)、Robotics(R)、Smart Phone(S)、それぞれの頭文字を繋げた造語。

以 上

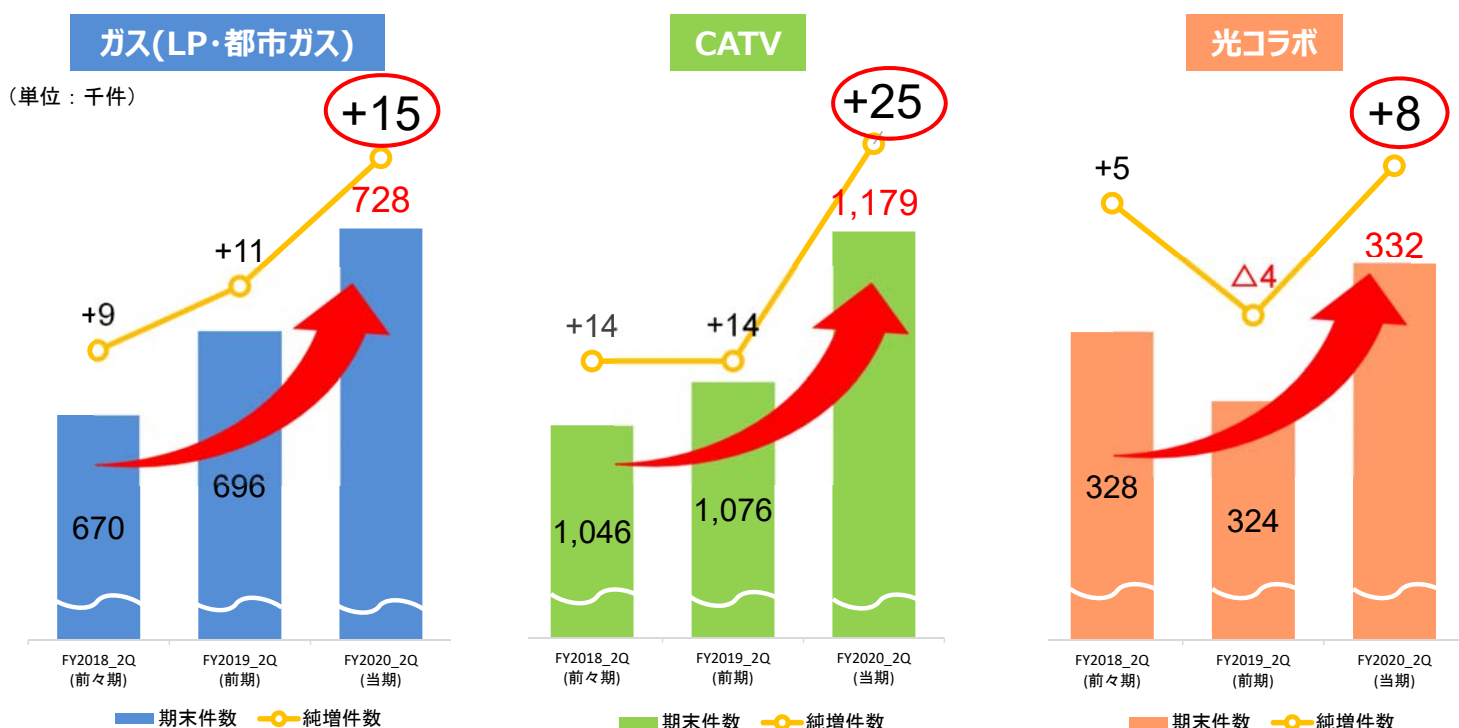
第2四半期決算について

株式会社TOKAIホールディングス
(証券コード:3167)

2020年10月29日

主力事業が堅調に顧客基盤を拡大

- ◎ 当期末の継続取引顧客件数は3,042千件と、期首の3,003千件から39千件増加
- ◎ 主力のガス事業・CATV事業、光コラボが収益基盤のさらなる拡充を進捗



※千件未満四捨五入
※純増件数はM&Aによる顧客の増加を含む。

前年同期並みかつ計画超えの着地

- ◎ 売上高は、顧客件数増加や法人向け情報通信事業の拡大等による増収があったものの、ガスの仕入価格下落に伴う販売価格の低下、コロナ禍における営業活動の遅れが影響し減収
- ◎ 利益面は、一部の事業でコロナ影響を受けたが、顧客件数増加に伴う月次課金件数増加等による増益や法人向け情報通信事業の増益等で補い、営業利益は前年同期並みで着地
- ◎ 社内計画を上回り、通期計画に対する進捗率(36%)も過去の水準を上回る

(売上高・利益:百万円、1株当たり利益:円)

	当期実績 (2020.4.1~2020.9.30)	前年同期実績 (2019.4.1~2019.9.30)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	89,836	93,015	△3,179	△3.4%
営業利益	5,452	5,500	△48	△0.9%
経常利益	5,499	5,608	△109	△1.9%
四半期純利益	3,279	3,492	△212	△6.1%
1株当たり純利益	25.04円	26.67円	△1.63円	△6.1%

2

増収増益を果たして成長基調を継続

- ◎ 4期連続の増収、3期連続で最高益を更新し、成長基調を継続
- ◎ 中期経営計画IP20“JUMP”の総仕上げに加え、次期中期計画の成長に繋げる土台作りを兼ね備えた局面、引続き中長期的な成長に向け顧客基盤拡大に注力
- ◎ 「M&Aの更なる推進」、「ABCIR+Sの実践」、「TLCの深化」をテーマとして取り組む

(単位:百万円)

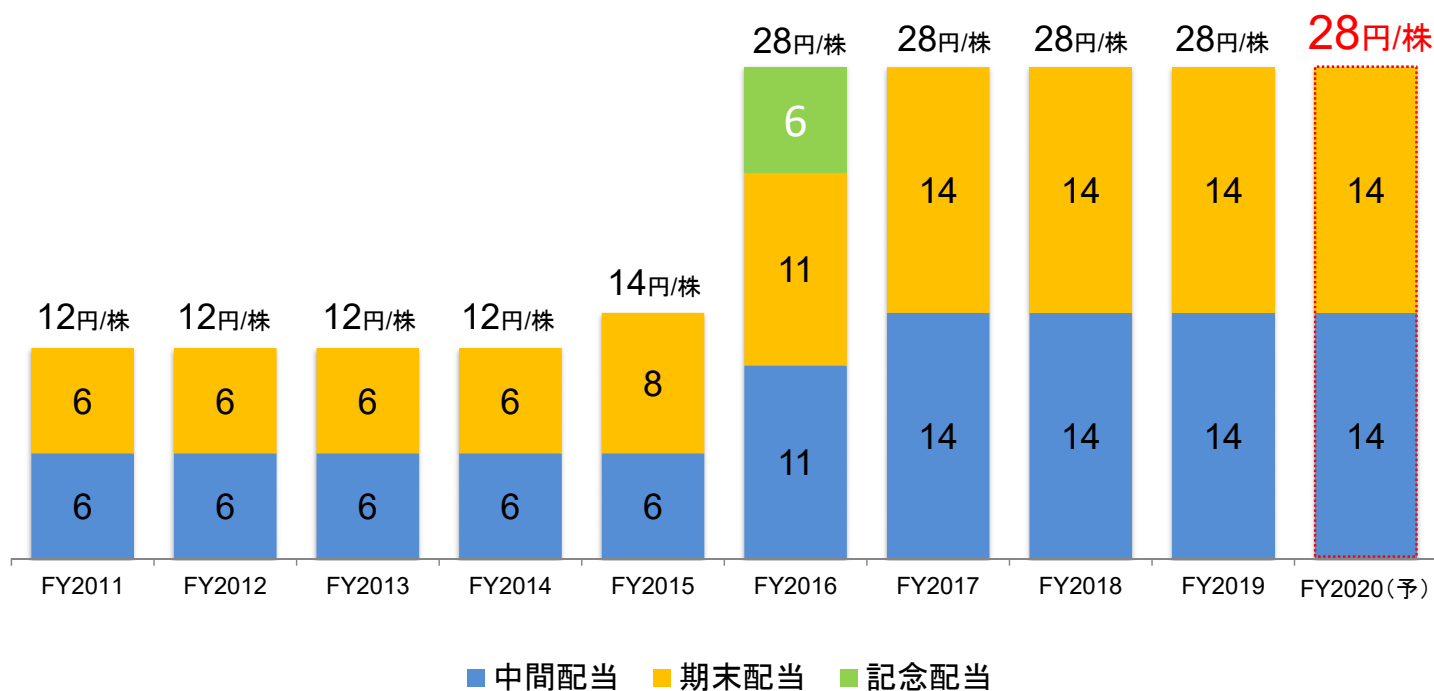
	当期予想 (2020.4.1~2021.3.31)	前期実績 (2019.4.1~2020.3.31)	前期比	
			増減額	増減率
売上高	205,300	195,952	+9,348	+4.8%
営業利益	15,000	14,224	+776	+5.5%
経常利益	14,870	14,479	+391	+2.7%
当期純利益	8,460	8,241	+219	+2.7%
1株当たり純利益	64.60円	62.93円	+1.67円	+2.7%
期末顧客件数	3,105千件	3,003千件	+102千件	+3.4%

3

継続的かつ安定的な配当に努める

◎ 継続的かつ安定的な配当に努めていく当社配当方針のもと、年間配当金は28円/株とする計画

◎ 配当予想(2020年5月8日公表)に変更なし



Appendix

- (1)連結業績
- (2)セグメント別売上高
- (3)セグメント別営業利益
- (4)連結財務指標
- (5)連結キャッシュフロー
- (6)グループ顧客件数

(1) 連結業績

(単位:百万円)

	2016年 2Q実績	2017年 2Q実績	2018年 2Q実績	2019年 2Q実績	2020年 2Q実績
売上高	82,201	84,911	88,840	93,015	89,836
営業利益	4,406	3,114	3,475	5,500	5,452
経常利益	4,428	3,143	3,580	5,608	5,499
四半期純利益	2,384	1,246	1,736	3,492	3,279
1株当たり純利益	21.00 円	9.76 円	13.26 円	26.67 円	25.04 円

(2) セグメント別売上高

(単位:百万円)

	2016年 2Q実績	2017年 2Q実績	2018年 2Q実績	2019年 2Q実績	2020年 2Q実績
エネルギー	32,496	32,777	33,948	35,766	33,430
情報通信	23,750	24,906	25,154	25,911	25,131
CATV	12,560	13,607	15,135	15,593	16,490
建築設備不動産	8,040	8,349	8,987	9,736	9,074
アクア	2,929	3,055	3,490	3,752	3,880
その他	2,423	2,214	2,123	2,255	1,828
合計	82,201	84,911	88,840	93,015	89,836

※当期より、報告セグメントの名称を「ガス及び石油」から「エネルギー」、「建築及び不動産」から「建築設備不動産」、「情報及び通信サービス」から「情報通信」に変更しています。セグメント名称変更によるセグメント別売上高に与える影響はありません。

8

(3) セグメント別営業利益

(単位:百万円)

	2016年 2Q実績	2017年 2Q実績	2018年 2Q実績	2019年 2Q実績	2020年 2Q実績
エネルギー	2,838	1,562	1,084	1,966	2,382
情報通信	1,910	1,541	1,608	2,269	2,036
CATV	1,451	1,769	2,330	2,539	2,633
建築設備不動産	324	388	554	843	621
アクア	201	135	291	400	446
その他・調整額	△2,318	△2,282	△2,393	△2,519	△2,667
合計	4,406	3,114	3,475	5,500	5,452

※数値は間接費用等配賦前ベース

※当期より、報告セグメントの名称を「ガス及び石油」から「エネルギー」、「建築及び不動産」から「建築設備不動産」、「情報及び通信サービス」から「情報通信」に変更しています。セグメント名称変更によるセグメント別営業利益に与える影響はありません。

9

(4) 連結財務指標

(単位:百万円)

	2016年 2Q実績	2017年 2Q実績	2018年 2Q実績	2019年 2Q実績	2020年 2Q実績
資産合計	153,384	160,467	164,920	165,616	167,687
負債合計	109,380	101,644	102,493	100,633	98,288
純資産合計	44,004	58,822	62,426	64,982	69,398
有利子負債残高	65,761	55,019	54,930	50,927	48,259
E B I T D A	12,217	10,764	10,892	13,116	13,350
自己資本比率	28.2 %	36.0 %	37.1 %	38.4 %	40.5 %

10

(5) 連結キャッシュフロー

(単位:百万円)

	2016年 2Q実績	2017年 2Q実績	2018年 2Q実績	2019年 2Q実績	2020年 2Q実績
営業活動による キャッシュフロー	12,039	7,888	7,193	10,706	14,805
投資活動による キャッシュフロー	△4,668	△6,931	△6,964	△6,859	△10,696
フリー キャッシュフロー	7,370	957	229	3,846	4,109
財務活動による キャッシュフロー	△8,833	△1,427	58	△3,659	△4,048

11

(6) グループ顧客件数

(単位:千件)

		2016年 2Q実績	2017年 2Q実績	2018年 2Q実績	2019年 2Q実績	2020年 2Q実績
ガス(LP・都市ガス)		634	648	670	696	728
情報 通信	従来型ISP等	565	492	440	403	379
	光コラボ	272	315	328	324	332
	LIBMO	—	13	36	43	51
	小計	837	819	804	770	762
CATV		722	995	1,046	1,076	1,179
アクア		135	141	156	159	161
モバイル		234	231	223	215	209
セキュリティ		17	17	17	16	16
合計		2,554	2,827	2,893	2,918	3,042

※千件未満四捨五入。ISPとCATVキャリアプランで通信サービスが重複、合計値からは除外。

12

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

金額は百万円未満切り捨て、それ以外を四捨五入で表示しております。

本資料に関するお問い合わせは下記までお願い致します。

株式会社TOKAIホールディングス IR室
 〒105-0022 東京都港区海岸1-9-1 浜離宮インターシティ11F
 TEL:(03)5404-2891
 FAX:(03)5404-2786
<https://www.tokaiholdings.co.jp>
 e-mail: hd-info@tokaigroup.co.jp

